

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	中国語入門Ⅱ	(NCR13H)
講義名 (コード)	中国語入門Ⅱ	(NCR13HX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数 2
授業担当者	姚 海玲	時間数 30
成績評価教員	姚 海玲	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 選択
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	就職時や中国人との交流、または旅行などでコミュニケーションができるようになる
全体の内容と概要	中国語のテレビや映画の鑑賞を授業に取り入れる
授業時間外の学修	校内の中国人留学生との交流を深める
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	第1課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
2	第2課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
3	第3課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
4	第4課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
5	第5課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
6	第6課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
7	第7課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
8	第8課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
9	第9課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
10	第10課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
11	第11課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
12	第12課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
13	第13課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
14	まとめと解説	テスト
15	まとめと解説	テスト

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	表現する中国語
参考文献・資料等	初級会話テキスト
備考	生徒と先生で会話をする